

令和 2 年 1 1 月 2 6 日

学生・教職員 各位

手術部長 谷 眞 至
手術部看護師長 河 田 優 子

手術部での学生実習について

新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて、10月から手術部内での実習を「見学型」で再開しています。

11月30日から、「参加型」を開始し、診療科判断のもと混合型とします。未来の医療者を育成するためご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、手術室の状況や感染状況等によっては、今後、指針の見直しも必要になる可能性があることを申し添えます。

記

1. 各診療科・各部門で再度周知してください。

- ・体温などの自己管理と報告を徹底する
- ・入室時にはアルコールによる手指消毒の徹底する
- ・見学型参加型にかかわらずゴーグルを着用する

(更衣室で適切な距離をとる)

- ・更衣場所が混んでいる場合は、前者が更衣場所を離れるまで距離を取って待機する
- ・ロッカーは隣接を同時に使用しない

(自身のウイルスを他人に感染させないために)

- ・更衣中にマスクを外す場合は雑談・私語・会話を慎む
- ・更衣についての正しい知識をもって帽子マスクの装脱着を行う

(社会的モラル)

- ・手術室マスクを持ち帰らない
- ・手術部内は、原則学生の飲食は禁止する

2. サーモグラフィー

- ・術衣に更衣後、2階の廊下にあるサーモグラフィーで体温チェックを行い3階に上がる
- ・熱がある場合は、3階には上がらず、該当科の担当の医師に連絡する

3. ひとつの手術室に集中しないように、1手術室には1診療科あたり3名までの入室とするよう、各診療科で実習生を調整してください。

また、手術室内では、マスク着用時も会話は最小限とし、ヒト、モノへの接触を最大限控えてください。

※「参加型」での実習においては、手洗いや滅菌ガウンの着用については、実施可能です。